

研究結果の評価

評価内容 研究目的の達成度、研究成果の妥当性、有用性等について完了報告書を基に評価（研究成果の活用については、継続的に評価）

評価時期 完了報告から1ヵ月を目途

評価者 研究委員会委員

<評価結果>

	研究名	代表者	助成額	総合評価
○ 年 度	(例) ○○の実態調査	○○ ××	300,000円	A

研究成果の妥当性・信頼性、有用性及び研究目的の達成度を評価し、総合的にS、A、B、Cのランクとして評価

総合評価

- S 研究目的を達成していて、妥当性・信頼性、有用性が著しく高い
- A 研究目的を達成していて、妥当性・信頼性、有用性も高い水準にある
- B 研究目的を達成していて、妥当性・信頼性、有用性も認められる
- C 研究目的の達成度が不十分か、或いは妥当性・信頼性、有用性があまり認められない